

# 景気動向調査報告書

令和元年10月末調査

この調査は、岡谷市の基幹産業である製造6業種（精密、機械、電気、計量、表面処理、鋳造）の企業の皆様のご協力により、今期（令和元年10月末）を基準とした業況等についてまとめた報告書です。

岡谷市産業振興部工業振興課・岡谷商工会議所

- 調査実施期間

前年同期	前 期	今 期	来 期
平成30年10月	平成31年4月	令和元年10月	令和2年4月

- 調査業種及び調査企業

(件数)

調査業種	精密	機械	電気	計量	表面処理	鋳造	合計
調査企業数	41	26	10	7	11	5	100
回答企業数	34	23	6	5	9	3	80

- 従業員数

人数	1～9人	10～19人	20～29人	30～39人	40～49人	50～99人	100人～	合計
企業数	27社 (33.8%)	9社 (11.3%)	7社 (8.7%)	8社 (10.0%)	6社 (7.5%)	14社 (17.5%)	9社 (11.2%)	80社 (100%)

## 調査結果のポイント

○前年同期から3期連続で生産額、受注額などの減少が続く一方、原材料仕入価格は横ばいであり、製品単価への転嫁も見られないことから、生産量・受注量などの落ち込みが収益まで影響し、業況DIのマイナス幅が更に拡大したと考えられます。

○前回調査では、設備投資に対する積極的な姿勢が見られましたが、今期の調査では、来期に設備投資を計画している企業が減少しています。業況DIが3期連続のマイナス水準となり景気が低迷している中、受注額・収益等の落ち込みや前期と比べ資金繰りが窮屈になったことが、企業の設備投資意欲を抑制したと考えられます。

○経営上の問題点として、前期まで5期連続で「人手不足・求人難」が最も多い回答となっていましたが、今期は「生産・売上・受注の伸び悩み」が最も多くなりました。また、不足している職種について、「製造職」の割合が減少し、「営業職」の割合が増加していることから、現在の業況を踏まえ、受注獲得に向けて営業に係る人手の需要が高まっていると考えられます。

## 《令和元年10月末の岡谷市の景気動向》

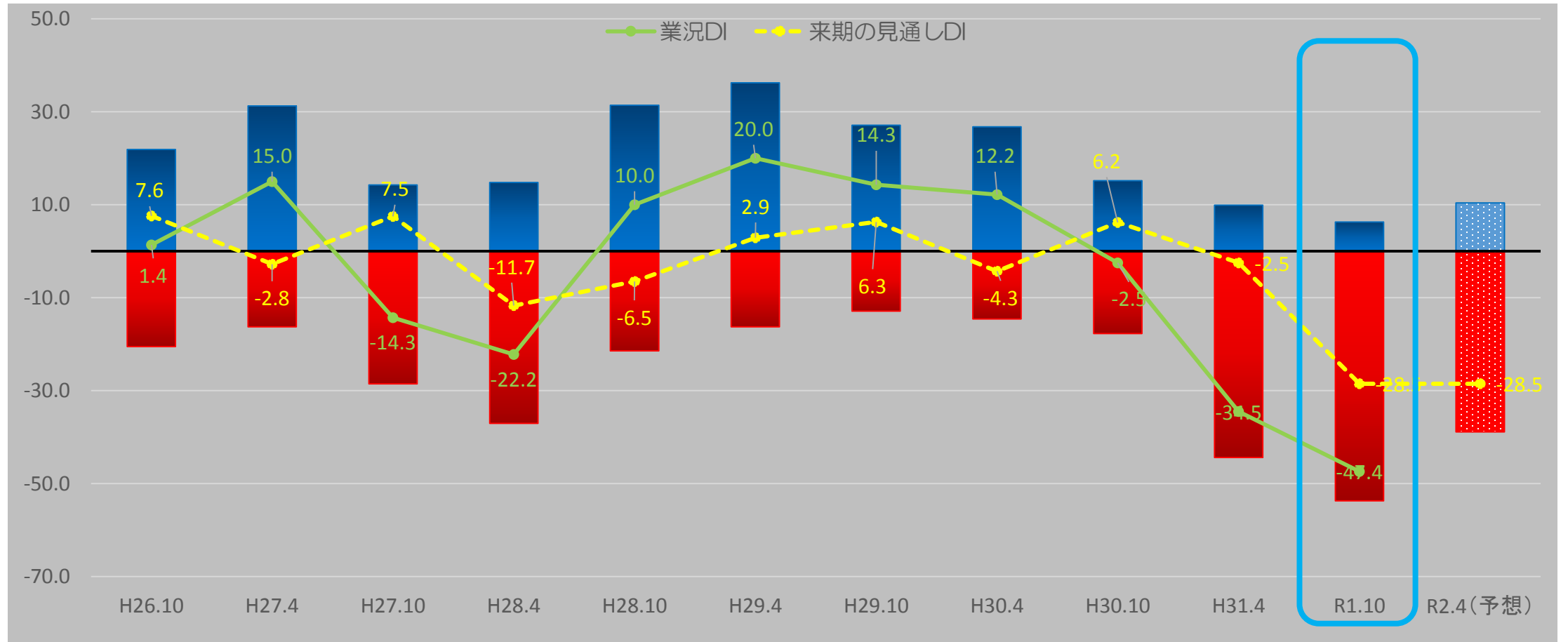
業況は、前期(6ヶ月前)と比べて悪化とした企業が増加し、業況DIは前年同期から3期連続のマイナス水準となり、総体的に減速傾向が続いています。業種別のDIを見ると、一部業種に下げ止まりの兆しが見られるものの、全ての業種でマイナス水準となっており、依然として米中貿易摩擦など世界経済の低迷が主な原因の一つになっているものと考えられます。

## 《来期の見通し》

来期(6ヵ月後)の見通しは、業況、生産額、受注額、収益等でマイナスの数値となっています。今期と比べたマイナス幅は縮小する予想となっていますが、先行きの不透明感に対する警戒感が窺えます。

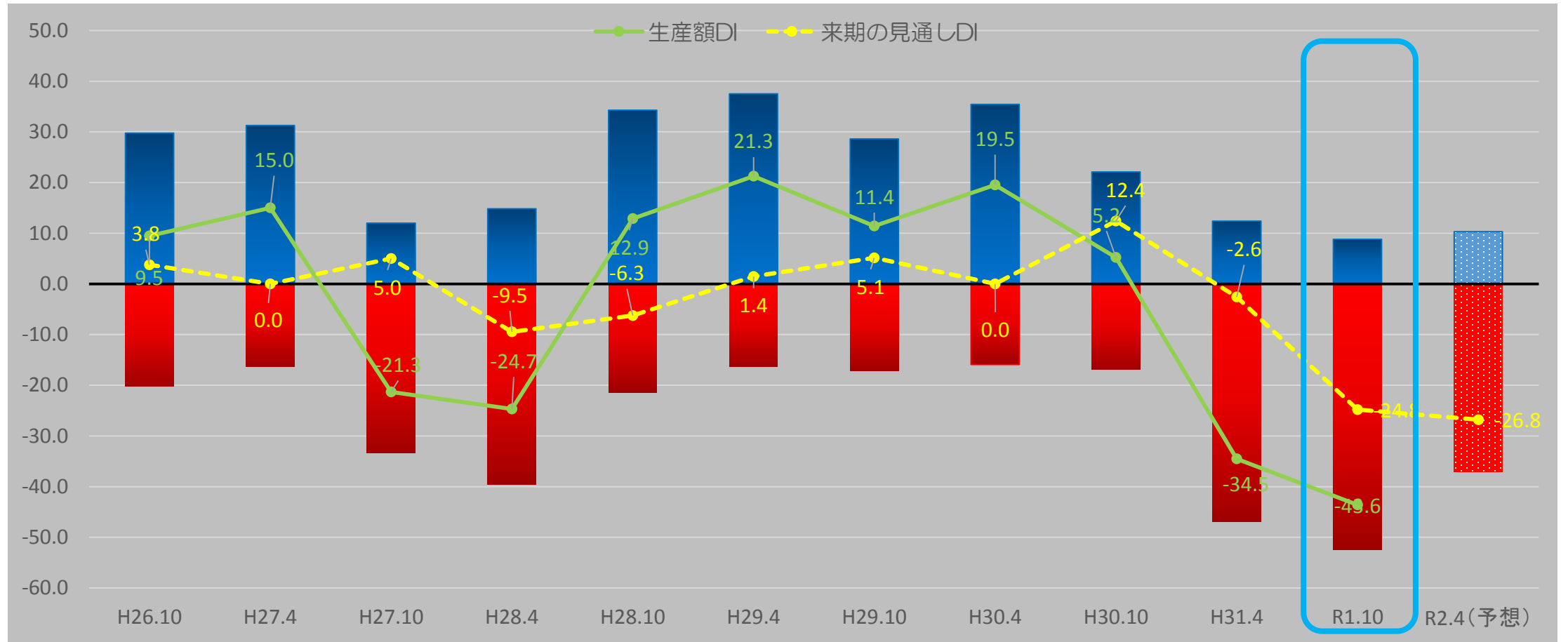
※棒グラフのプラス側は好転(増加、上昇、余裕)の企業の割合、マイナス側は悪化(減少、低下、窮屈)の企業の割合です。折れ線グラフ(DI)は好転(増加、上昇、余裕)の企業の割合から悪化(減少、低下、窮屈)の企業の割合を引いた差です。折れ線グラフ(来期の見通し)は調査時の来期(6ヵ月後)のDI値です。

# ①業況DI【前期(6ヶ月前)に比べて】



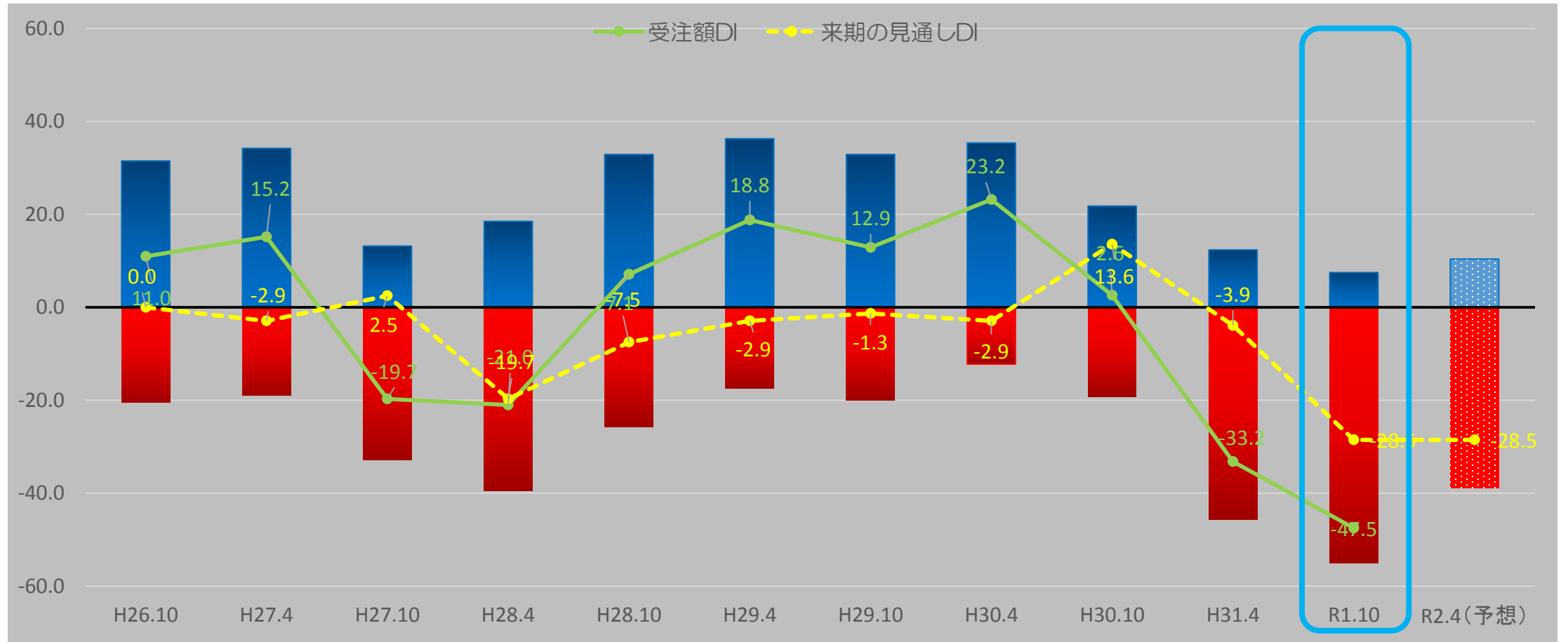
前期と比べたDIは▲47.4ポイントとなり、前期の▲34.5ポイントより12.9ポイント悪化しました。  
 また、来期の見通しDIは、▲28.5ポイントとなり、前期と同ポイントとなりました。

## ②生産額DI【前期(6ヶ月前)に比べて】



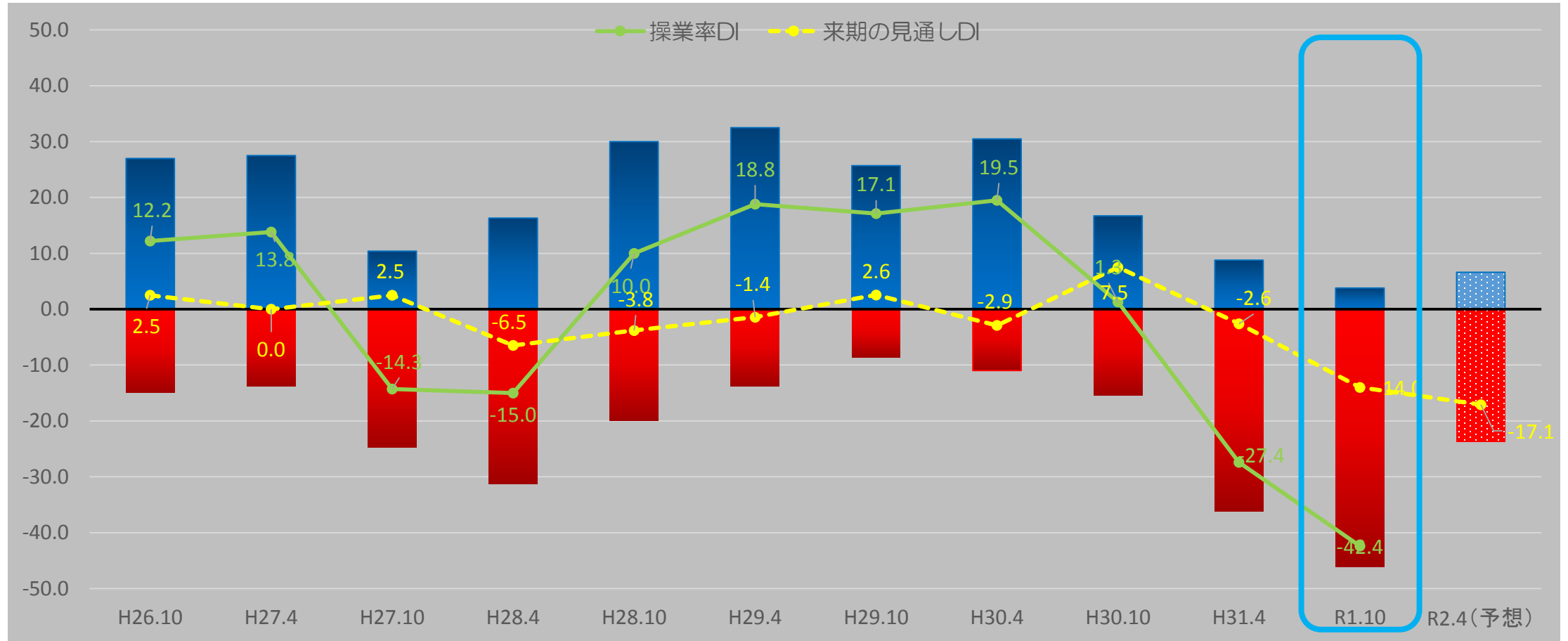
前期と比べたDIは、▲43.6ポイントとなり、前期の▲34.5ポイントより9.1ポイント減少しました。  
また、来期の見通しDIは、▲26.8ポイントとなり、前期の▲24.8ポイントより2.0ポイント減少しました。

### ③受注額DI【前期(6ヶ月前)に比べて】



前期と比べたDIは▲47.5ポイントとなり、前期の▲33.2ポイントより14.3ポイント減少しました。  
また、来期の見通しDIは、▲28.5ポイントとなり、前期と同ポイントとなりました。

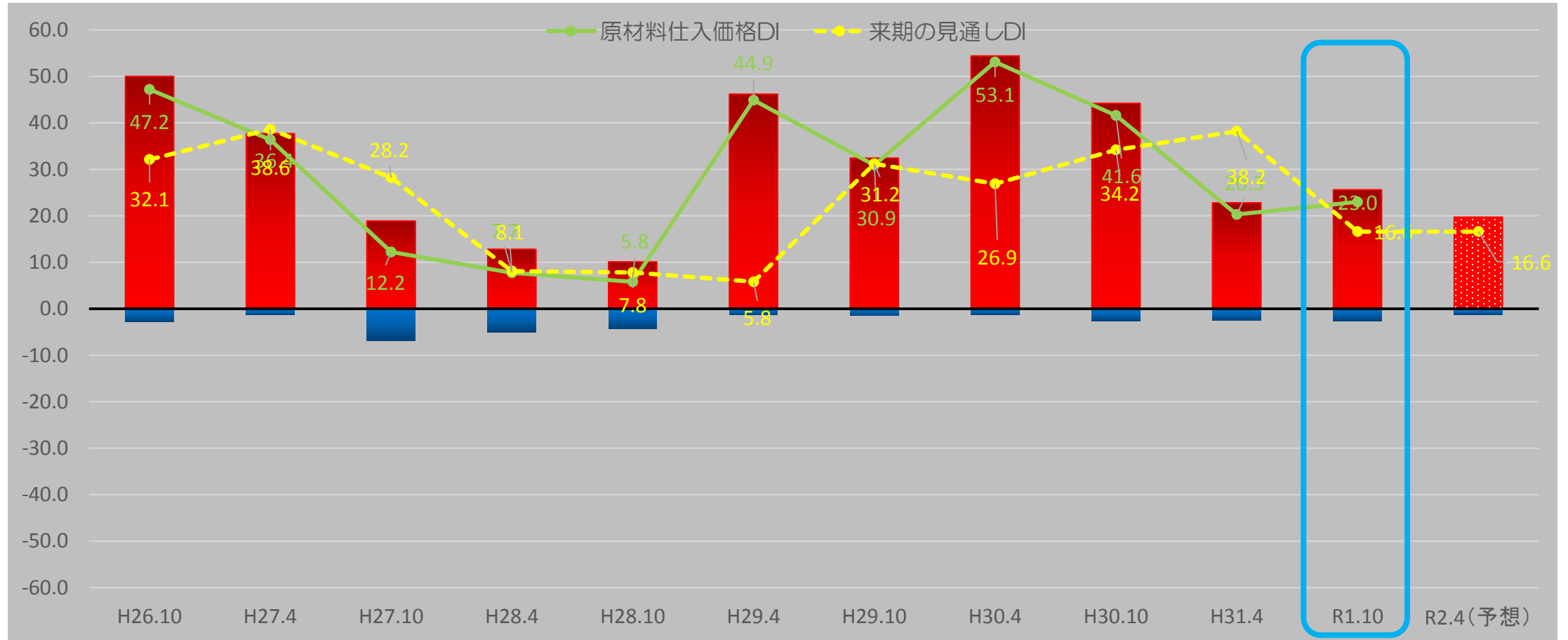
#### ④操業率DI【前期(6ヶ月前)に比べて】



前期と比べたDIは、▲42.4ポイントとなり、前期の▲27.4ポイントより15.0ポイント低下しました。  
また、来期の見通しDIは、▲17.1ポイントとなり、前期の▲14.0ポイントより3.1ポイント低下しました。

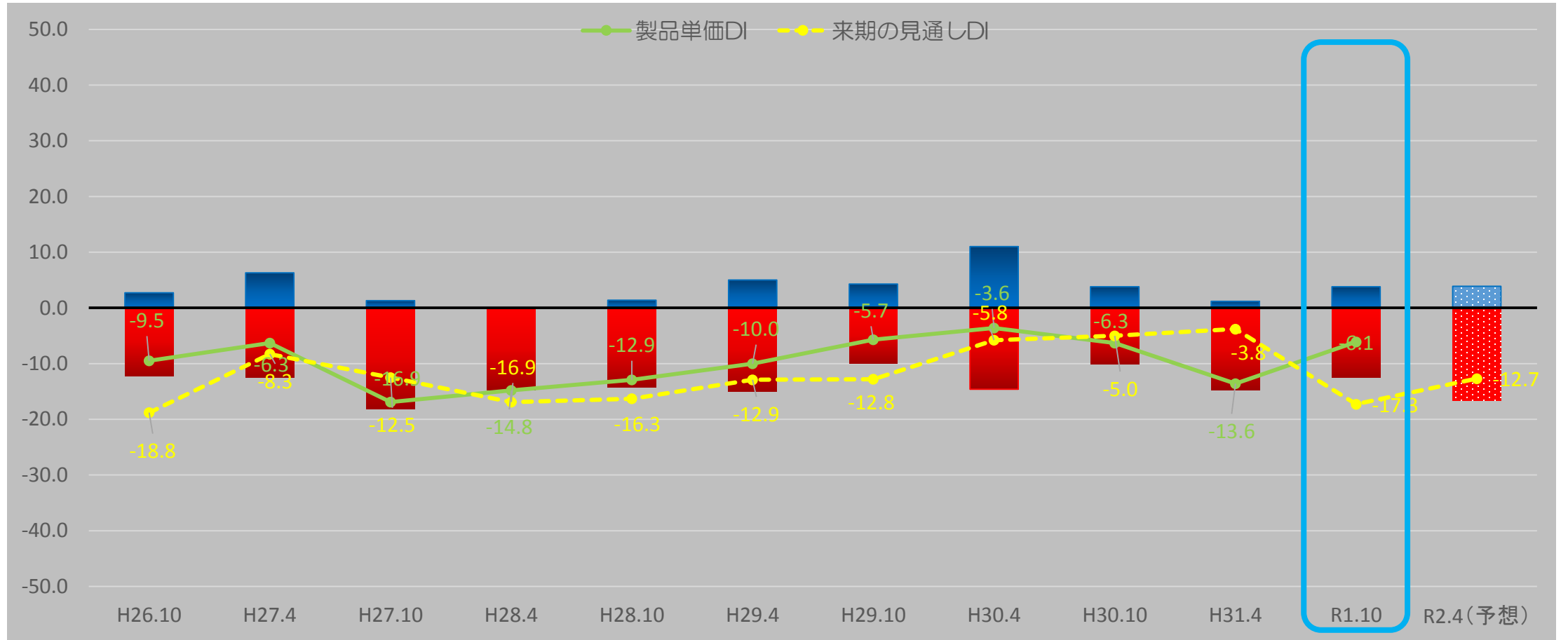


### ⑤原材料仕入価格DI【前期(6ヶ月前)に比べて】



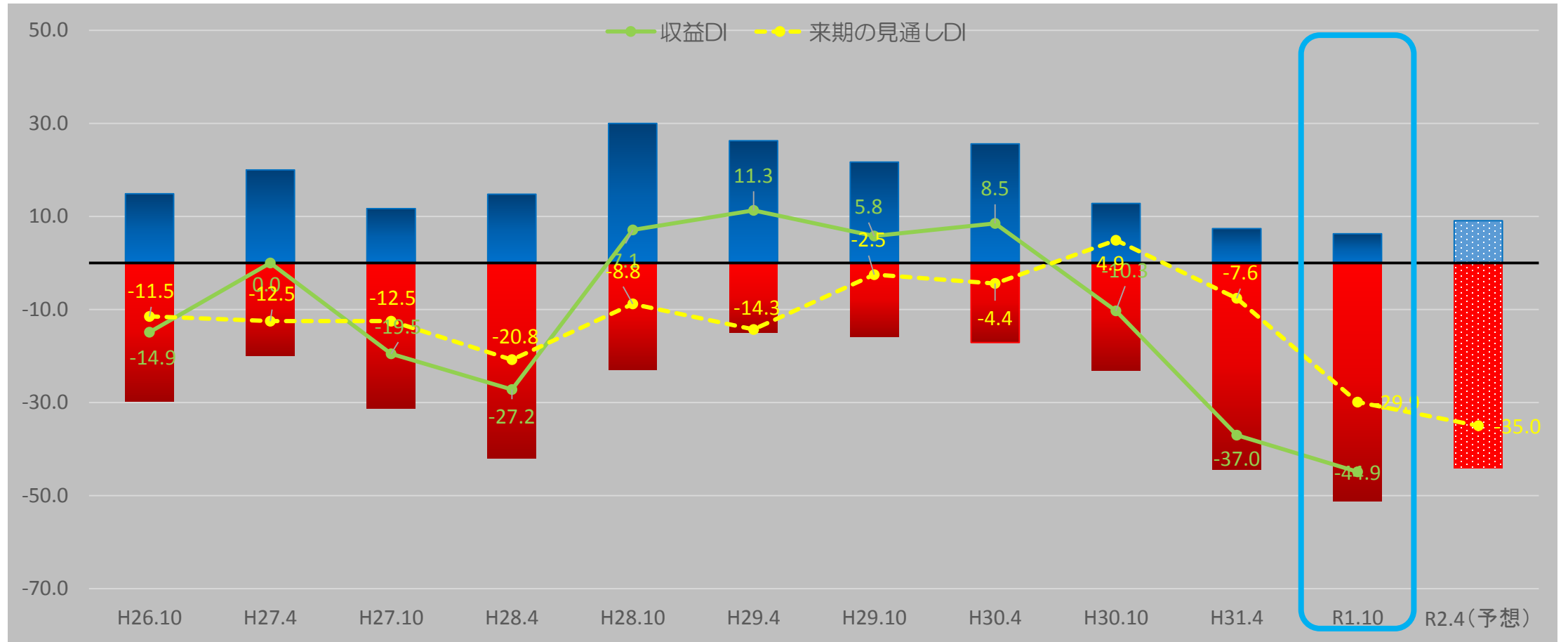
前期と比べたDIは、23.0ポイントとなり、前期の20.3ポイントより2.7ポイント上昇しました。  
 また、来期の見通しDIは、18.4ポイントとなり、前期の16.6ポイントより1.8ポイント上昇しました。

## ⑥製品単価DI【前期(6ヶ月前)に比べて】



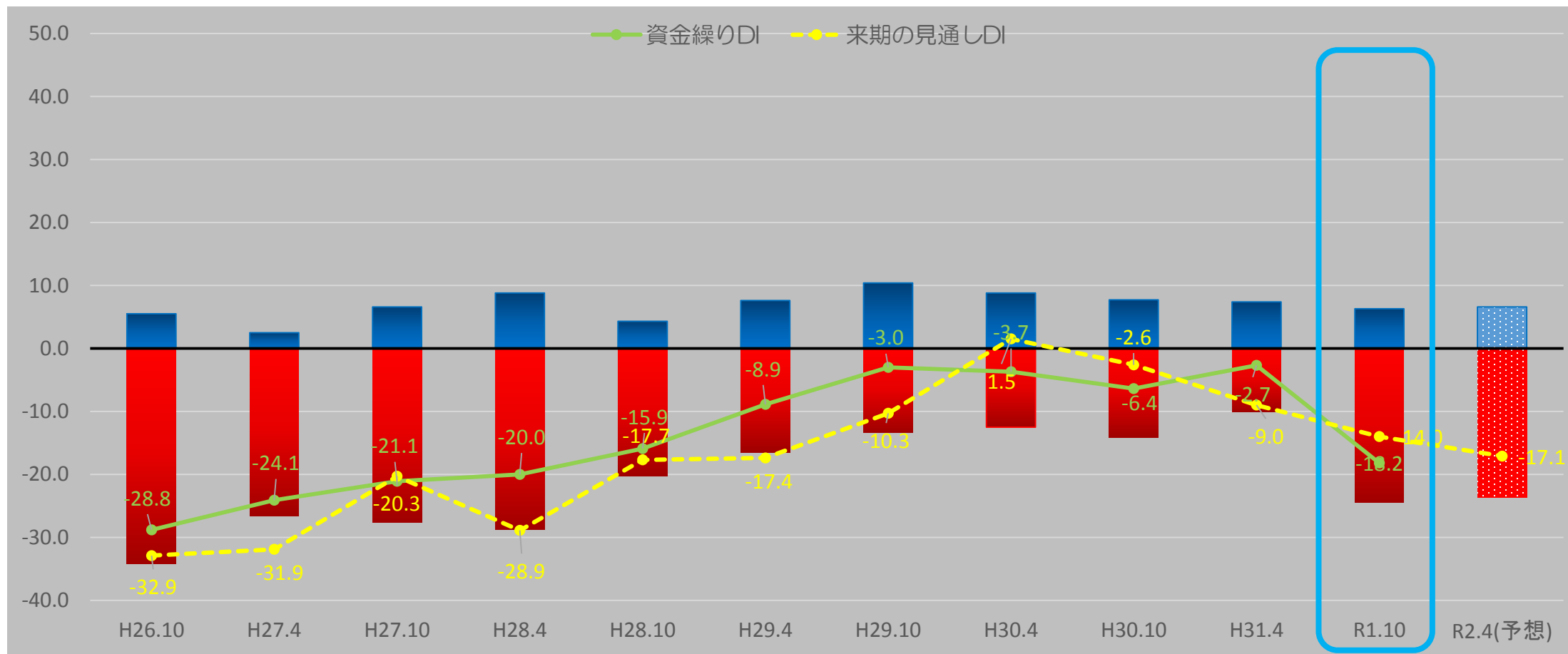
前期と比べたDIは、▲6.1ポイントとなり、前期の▲13.6ポイントより7.5ポイント上昇しました。  
また、来期の見通しDIは、▲12.7ポイントとなり、前期の▲17.3ポイントより4.6ポイント上昇しました。

## ⑦収益DI【前期(6ヶ月前)に比べて】



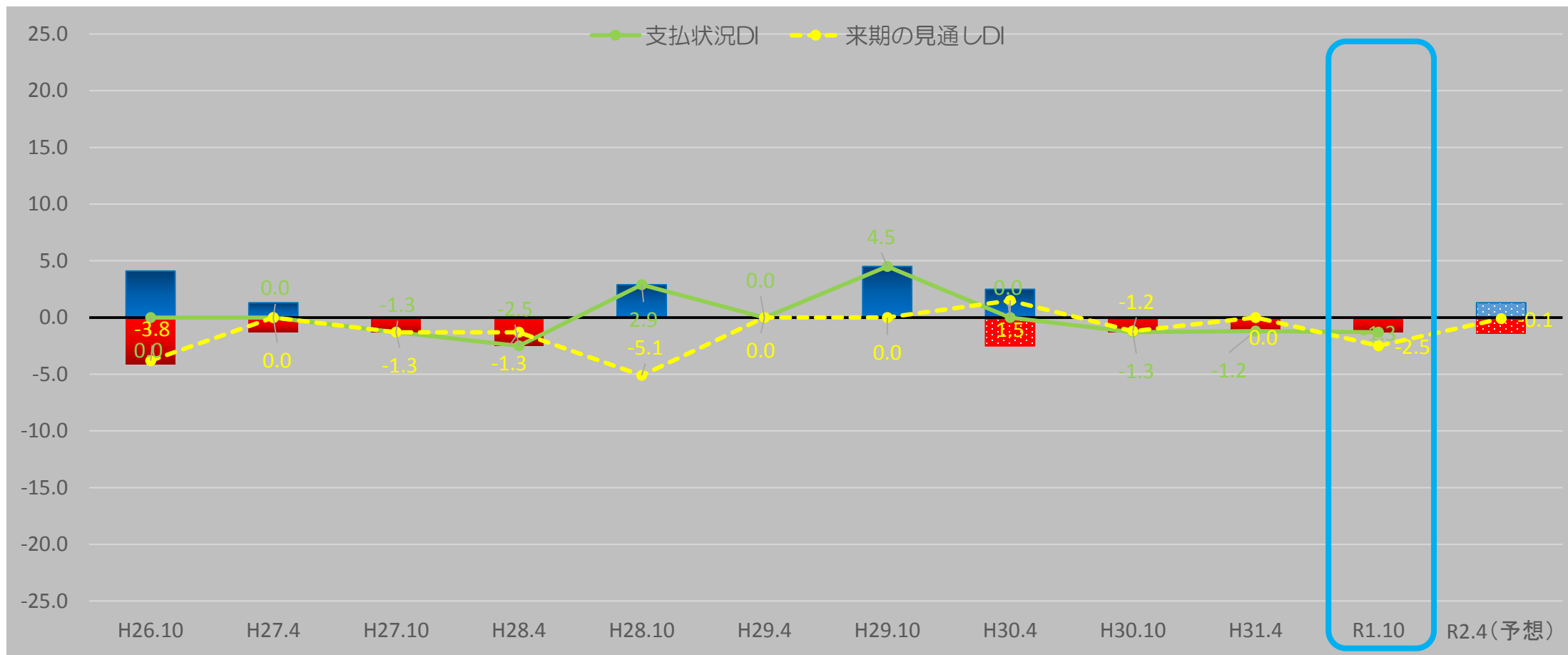
前期と比べたDIは、▲44.9ポイントとなり、前期の▲37.0ポイントより7.9ポイント減少しました。  
また、来期の見通しDIは、▲35.0ポイントとなり、前期の▲29.9ポイントより5.1ポイント減少しました。

## ⑧資金繰りDI【前期(6ヶ月前)に比べて】



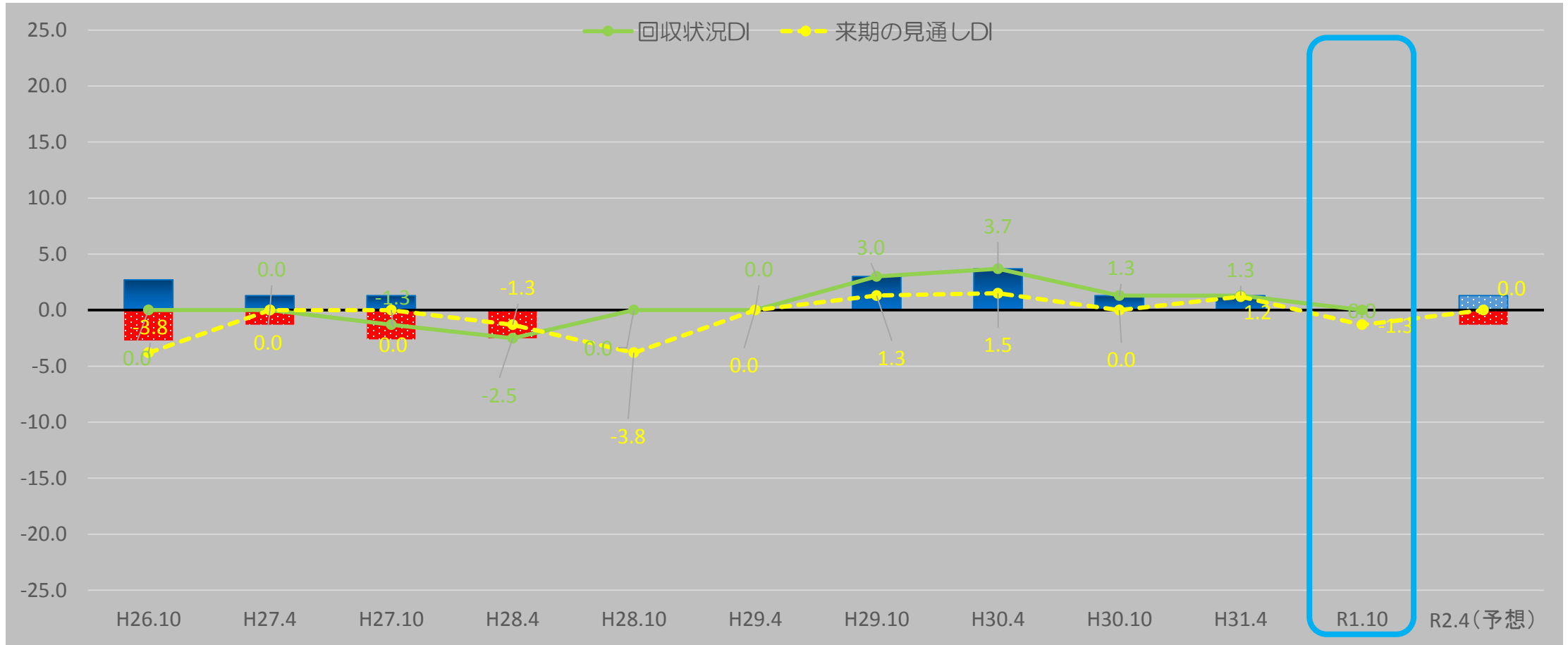
前期と比べたDIは、▲18.2ポイントとなり、前期の▲2.7ポイントより15.5ポイント低下しました。  
また、来期の見通しDIは、▲17.1ポイントとなり、前期の▲14.0ポイントより3.1ポイント低下しました。

### ⑨支払状況DI【前期(6ヶ月前)に比べて】



前期と比べたDIは、▲1. 3ポイントとなり、前期の▲1. 2ポイントより0. 1ポイント低下しました。  
 また、来期の見通しDIは、▲0. 1ポイントとなり、前期の▲2. 5ポイントより2. 4ポイント上昇しました。

### ⑩回収状況DI【前期(6ヶ月前)に比べて】



前期と比べたDIは、0.0ポイントで前期の1.3ポイントより1.3ポイント低下となりました。  
 また、来期の見通しDIは、0.0ポイントとなり、前期の▲1.3ポイントより1.3ポイント上昇しました。

## ⑪ 今期の業種別業況DI

	精密	機械	電気	計量	表面処理	鑄造
前期に比して	▲47.0	▲52.2	▲16.7	▲60.0	▲55.6	▲33.3
前年同期に比して	▲52.9	▲60.8	▲33.3	▲60.0	▲66.7	▲66.7

## ⑫経営上の問題点(複数回答)

項目	今期(R1. 10)			前期(H31. 4)			順位 変動	前期比 (ポイント)
	回答数	回答 割合	順位	回答数	回答 割合	順位		
生産・売上・受注の伸び悩み	51社／80社	63.8%	①	37社／82社	45.1%	②	↑	18.7
設備の狭小・老朽化	30社／80社	37.5%	②	30社／82社	36.6%	③	↑	0.9
人手不足・求人難	29社／80社	36.3%	③	41社／82社	50.0%	①	↓	▲13.7
競争の激化	22社／80社	27.5%	④	13社／82社	15.9%	⑥	↑	11.6
製品・加工賃の料金安	19社／80社	23.8%	⑤	15社／82社	18.3%	④	↓	5.5
人件費等の経費の悪化	16社／80社	20.0%	⑥	9社／82社	11.0%	⑦	↑	9.0

今期は、「生産・売上・受注の伸び悩み」が63.8%で最も多い状況となっています。前期の回答で一番多かった「人手不足・求人難」は36.3%で前期より13.7ポイント減少しています。

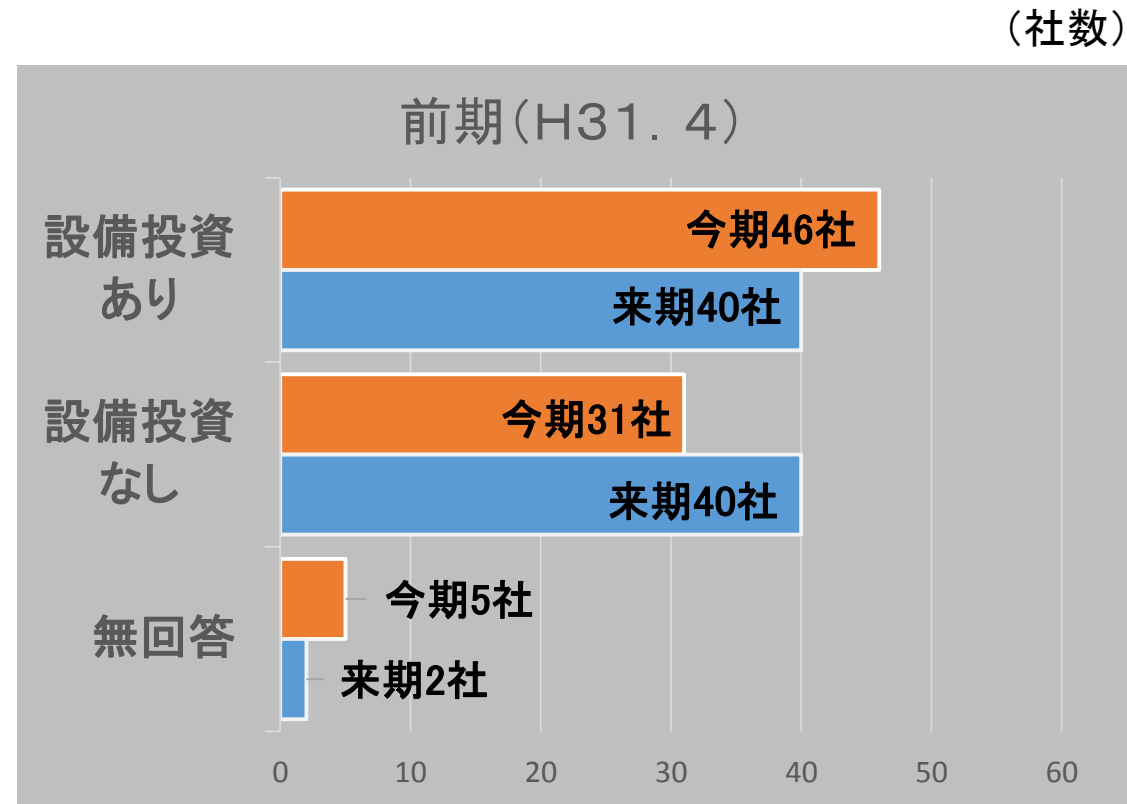
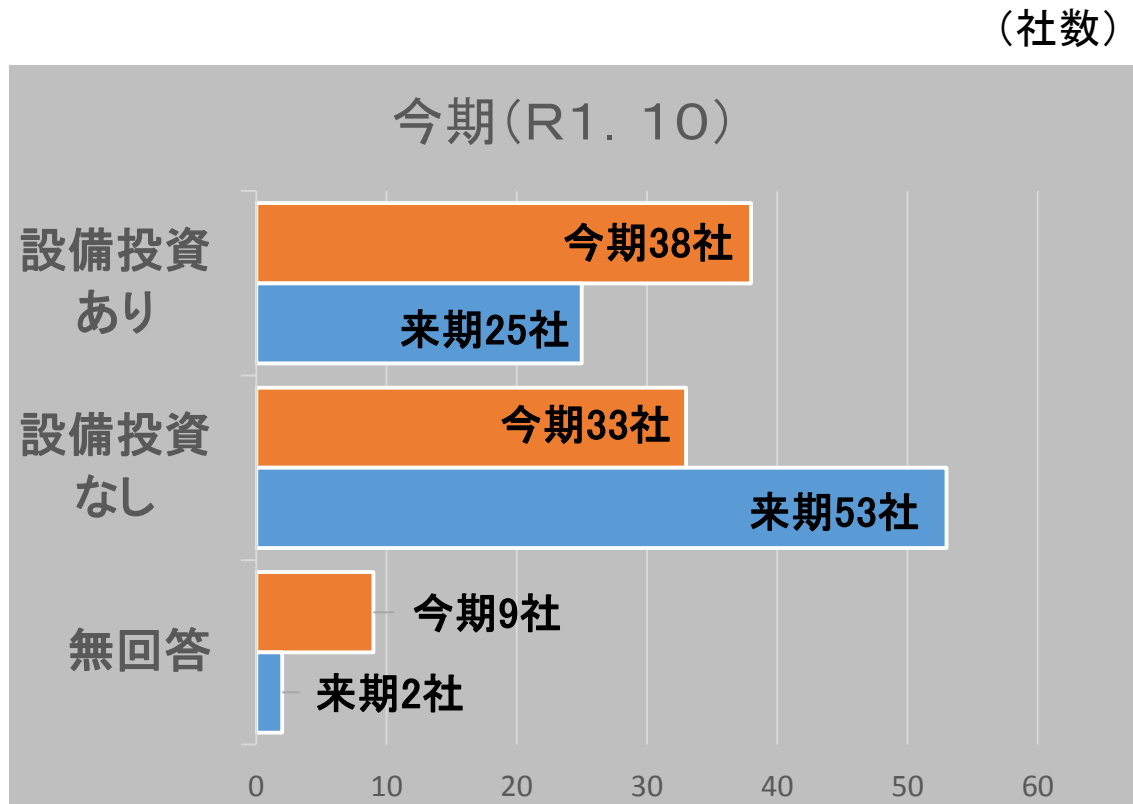
※○数字は、回答数による順位



### ⑬設備の狭小・老朽化について

調査企業数:80社  
(前期:82社)

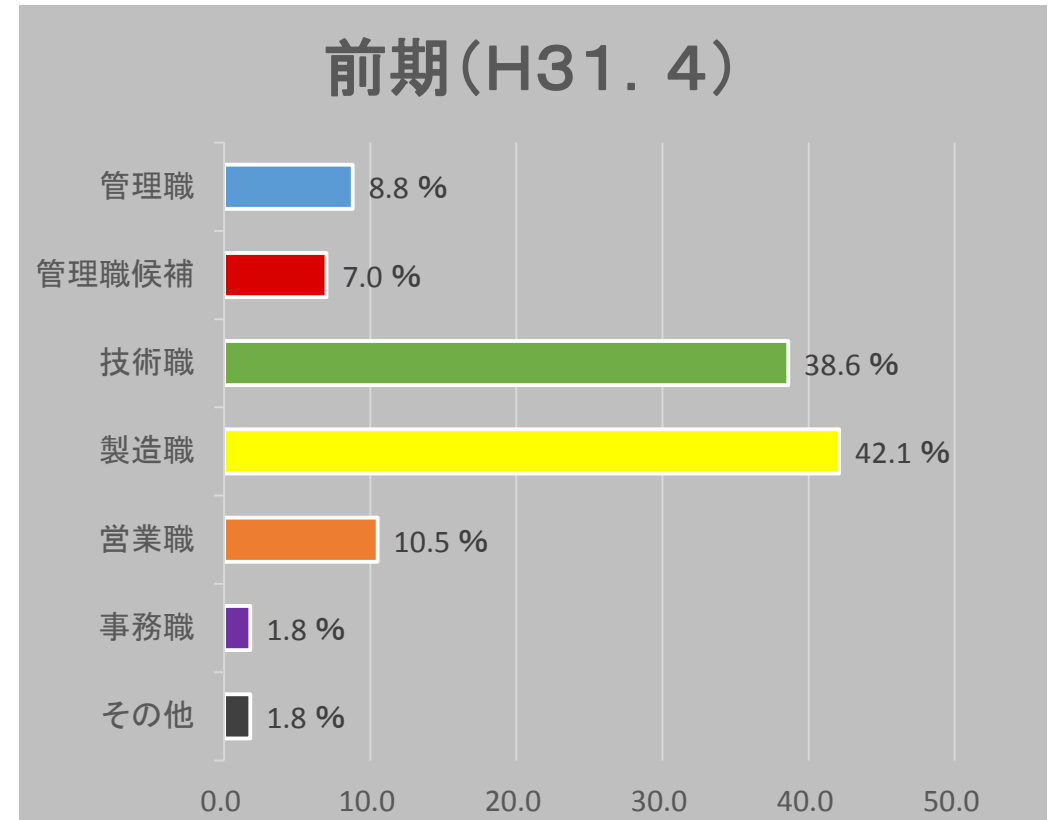
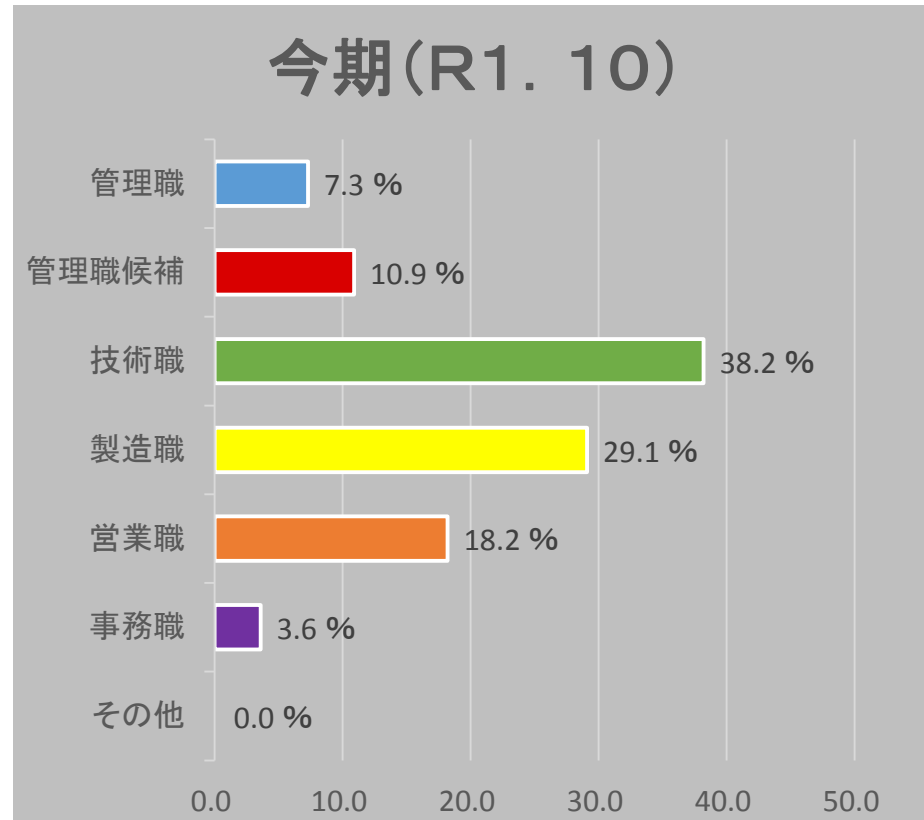
・設備投資の状況について



⑬経営上の問題点において、「設備の狭小・老朽化について」に対する各企業の取り組みで、設備投資を行っている(計画している)と回答した企業が、今期38社 来期25社となっています。

⑭人手不足・求人難について（⑫経営上の問題点にて【人手不足・求人難】を答えた企業を対象）

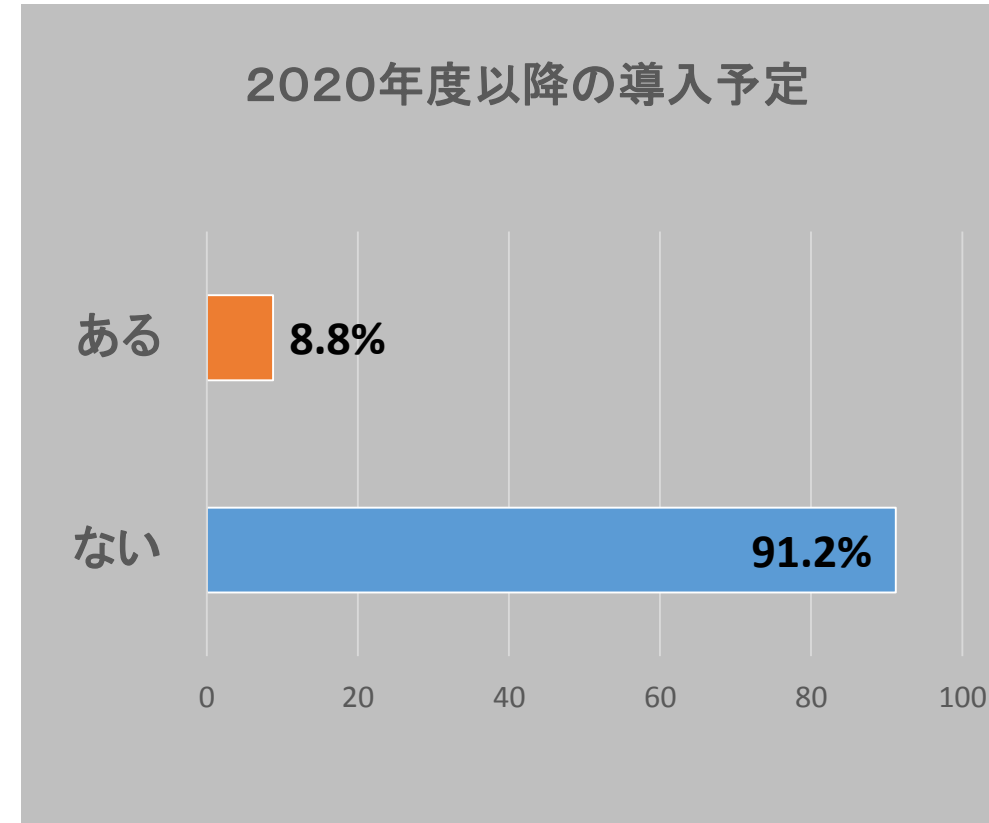
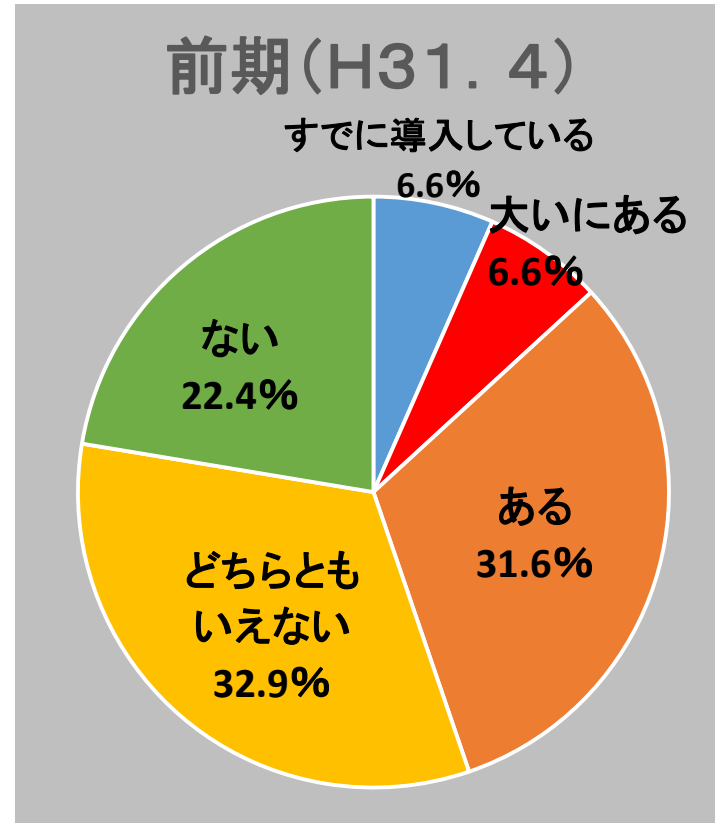
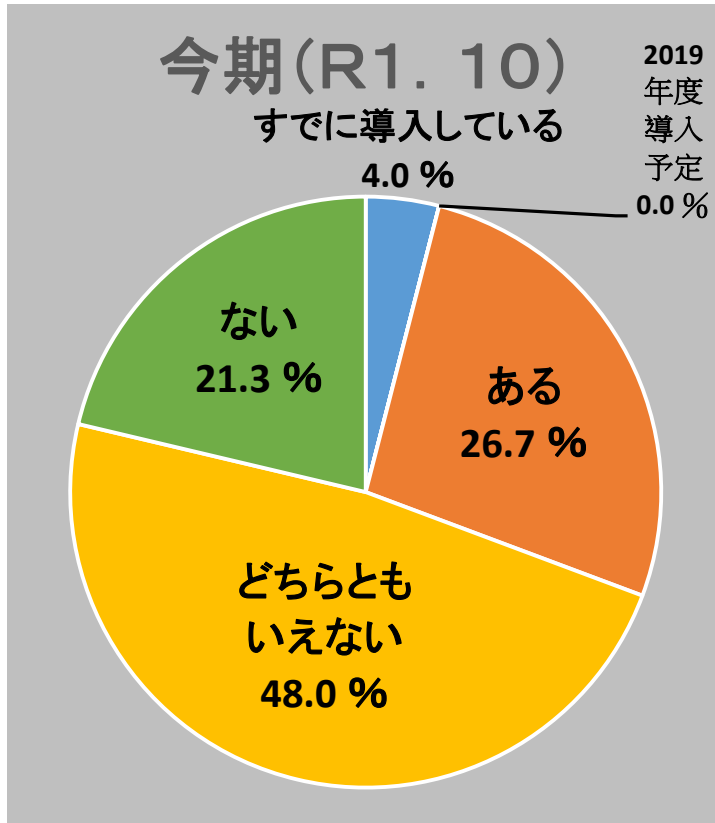
・不足している職種（複数回答）



⑭人出不足・求人難について前期から「管理職」が不足していると回答した企業が8.8%から7.3%に減少、「管理職候補」は7.0%から10.9%に増加、「技術職」が38.6%から38.2%に減少、「製造職」が42.1%から29.1%に減少、「営業職」が10.5%から18.2%に増加、「事務職」が1.8%から3.6%に増加しました。

⑮IoT(モノのインターネット)の導入への興味

・導入への興味があると答えた企業対象



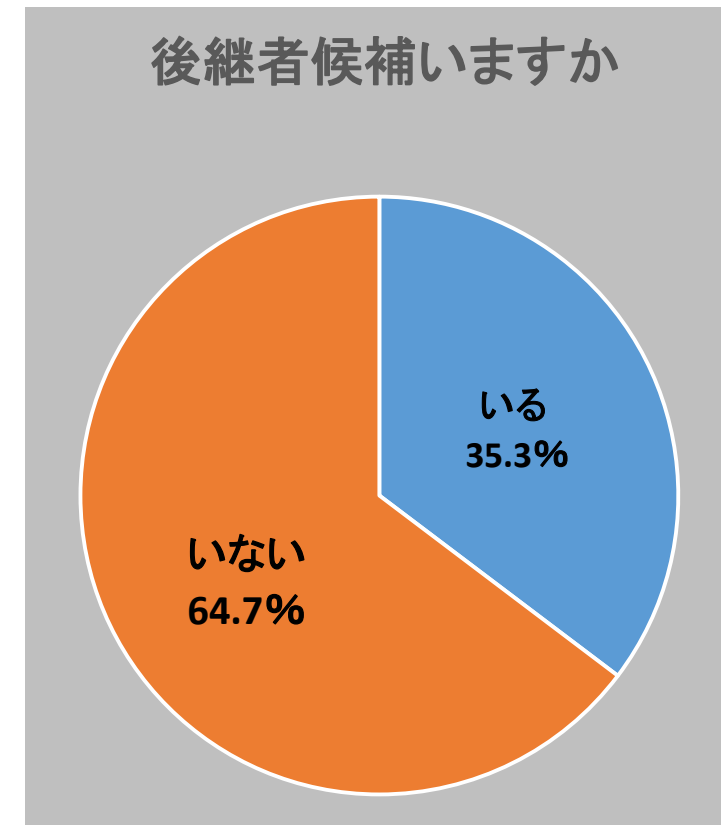
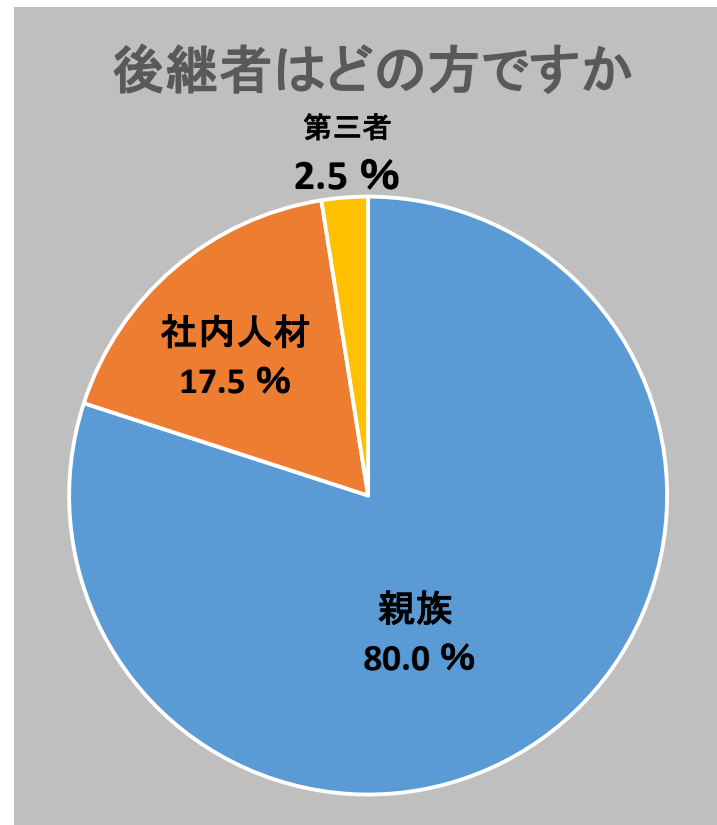
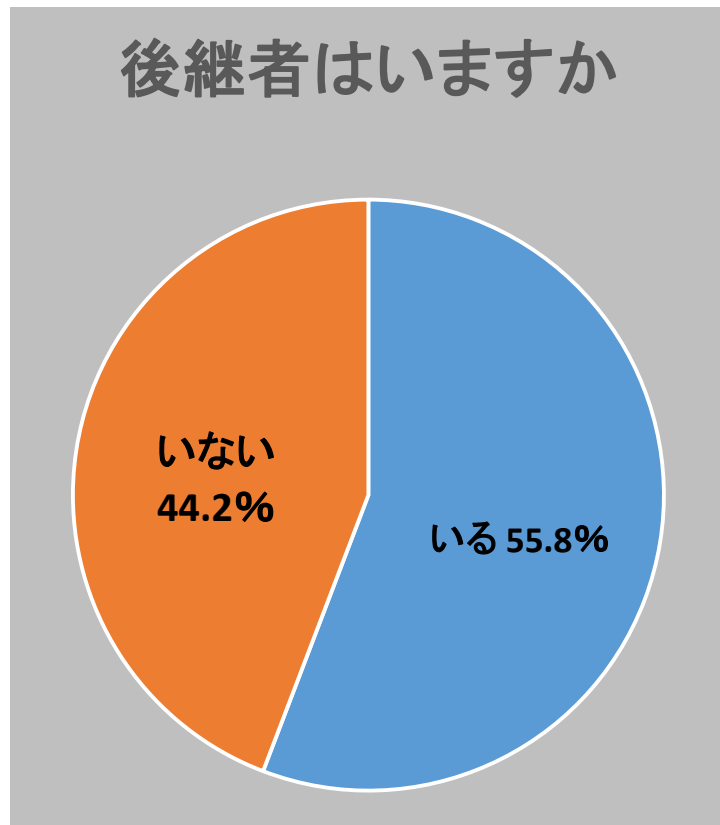
⑮IoT導入への興味において、「すでに導入している」と回答した企業は4.0%、「2019年度導入予定」と回答した企業は0.0%、「ある」と回答した企業は26.7%で、「導入への興味がある」と答えた企業の内「2020年度以降の導入予定がある」と答えた企業は8.8%、「2020年度以降の導入予定がない」と答えた企業は91.2%となりました。

## ⑩事業承継について

調査企業数：今期80社  
(前期82社)

・後継者がいると答えた企業対象

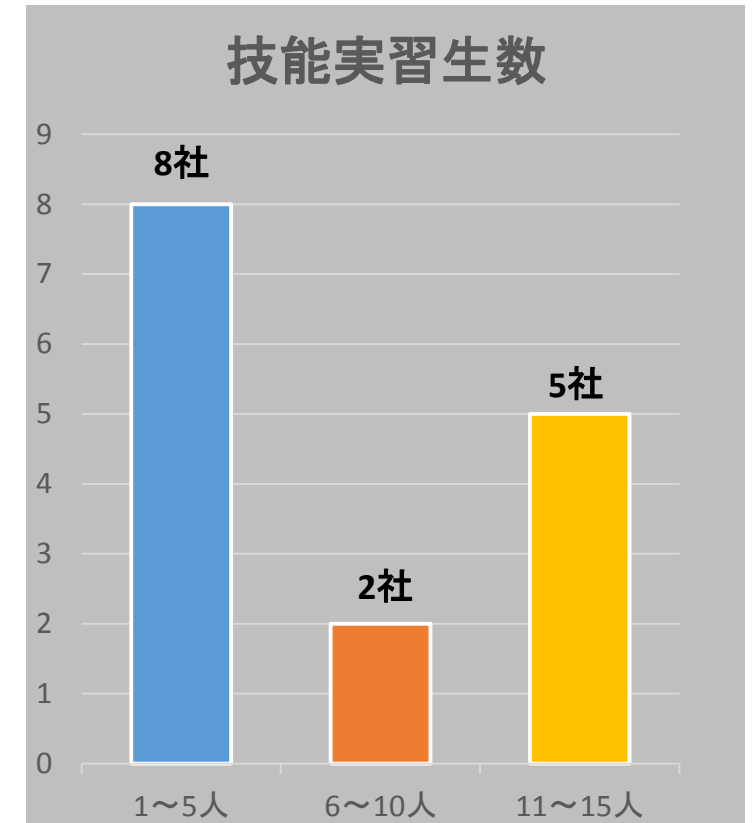
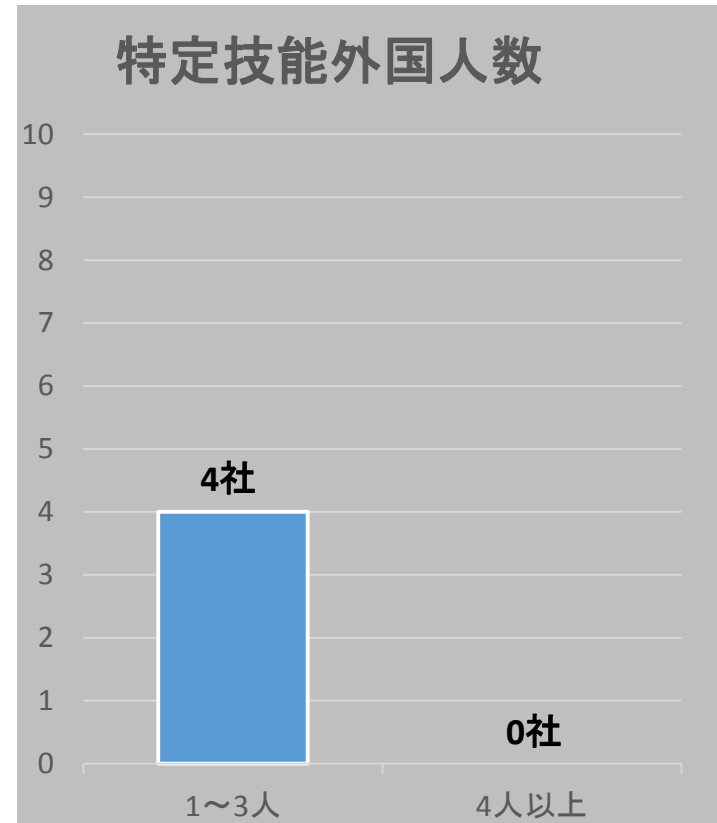
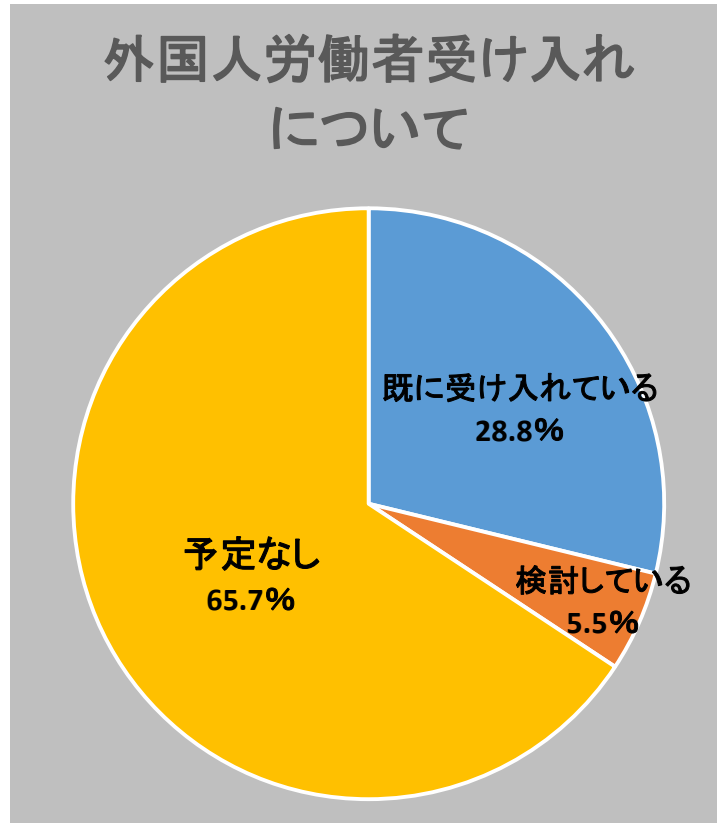
・後継者がいないと答えた企業対象



⑩事業承継について、「後継者はいる」と回答した企業は55.8%、「後継者はいない」と回答した企業は44.2%でした。「後継者はいる」と回答した企業の内「親族」が80.0%、「社内人材」が17.5%、「第三者」が2.5%でした。「後継者はいない」と回答した企業の内「後継者候補はいる」が35.3%、「後継者候補はいない」が64.7%となりました。

⑰外国人労働者について

・概に受け入れていると答えた企業対象



⑰外国人労働者について、「既に受け入れている」と回答した企業は28.8%、「検討している」と回答した企業は5.5%、「予定なし」と回答した企業が65.7%となりました。

「既に受け入れている」と回答した企業の内「特定技能外国人数1~3人」が4社、「特定技能外国人数4人以上」が0社でした。また、「技能実習生数1~5人」が8社、「技能実習生数6~10人」が2社、「技能実習生数11~15人」が5社ありました。